

2025 年 5 月 16 日

難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」

第 13 期 助成先決定のお知らせ

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市中区、代表取締役社長：辻村明広、以下「田辺三菱製薬」）は、このたび、「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム※」の第 13 期の助成先を決定しました。

第 13 期は難病患者団体およびその支援団体が実施する 13 件の事業に対し、総額 909 万円を助成します。

田辺三菱製薬は、「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」を通じ、患者さんご家族の闘病を支えるとともに、一人ひとりの生きがいや未来に向けた夢をかなえるために、支援を続けていきます。

【助成先】

別紙 助成先一覧（都道府県順）をご覧ください。

※田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム

企業市民活動の一環として 2012 年創設。国内における療養・就学・就労等、生活の質（QOL：Quality of Life）向上に取り組んでいる難病患者団体、およびその支援団体への助成制度。

お問い合わせ先 田辺三菱製薬株式会社 CEO オフィス PR グループ TEL: 06-6205-5119
--

別紙

「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」 第 13 期 助成先一覧（都道府県順）

団体名	団体 所在地	事業名	助成額
北海道小児膠原病の会	北海道	膠原病をもつ子どもと家族の生活調査及び教職員とのコミュニケーションツールの作成	52 万円
全国ポルフィリン代謝障害友の会 (さくら友の会)	岩手県	冊子「ポルフィリン症ハンドブック(下)」の作成	96 万円
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症全国患者連絡協議会	東京都	進行性の神経難病の治験制度の改善についての医療講演会と総会の開催と全国患者交流会	100 万円
一般社団法人日本 ALS 協会	東京都	ALS 患者・家族および支援者に対する療養情報の提供事業	100 万円
特定非営利活動法人 ALD の未来を考える会	東京都	ALD 新生児スクリーニングプロジェクト	100 万円
特定非営利活動法人 シェーグレンの会	東京都	既存事業のウェブサイトを利用した情報公開	64 万円
特定非営利活動法人 PID つばさの会	東京都	IPOPI 疾患啓発リーフレット日本語版作成事業	36 万円
ロスムンド・トムソン症候群家族会	静岡県	「ぼくの病気のこと知ってほしいな」(仮)ロスムンド・トムソン症候群のこと	26 万円
特定非営利活動法人 三重難病連	三重県	① 地域難病相談会 4 回 (車いす用リフトバス使用予定) ② 看護学生を対象としたサマースクール	40 万円
特定非営利活動法人 日本オスラー病患者会	大阪府	未診断者に対する啓蒙と学習活動及び日本オスラー病研究会医師による講演	100 万円
岡山県難病団体連絡協議会	岡山県	難病患者就労応援(サルベージ) 事業	30 万円
認定特定非営利活動法人 ポケットサポート	岡山県	病気療養児に携わる支援者育成ワークショップ開催	85 万円
再発性多発軟骨炎 (RP) 患者会	福岡県	私たちにも保険適応薬剤を！プロジェクト	80 万円

（参考資料）

手のひらパートナープログラムは、医薬品だけでは解決困難なヘルスケアに関する様々な課題解決のため、患者さんの QOL 向上に取り組む難病患者団体およびその支援団体への活動助成を行っています。

また、助成団体間の情報交換や交流を通して、共創のきっかけになることを目的に、毎年、助成事業報告会を開催しています。

本取組をより身近に知っていただくため、昨春秋に開催した第 11 期助成事業報告会から、助成事業の活動事例をご紹介します。

① 就学／就労等、社会参加を支援する活動

【団体名】 岡山県難病団体連絡協議会

【事業名】 サルベージ・シンポジウム

「難病患者の就労と労働環境を考え支援するために」

【対象疾患】 ベーチェット病、クローン病、潰瘍性大腸炎、膠原病
ほかすべての難病

【事業内容】 難病患者とその家族、企業、医療関係者などを対象に、難病患者の就労についての問題点や今後についての講演と、行政、企業代表、社労士、医師、難病患者等とのパネルディスカッション。難病患者の働きやすい環境整備、仕事の定着をめざす。



② 難病患者の QOL を高め、生きがいを創出する活動

【団体名】 特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

【事業名】 発話が不明瞭な神経難病者に対する、「自分の声ソフト」活用による社会参加促進事業

【対象疾患】 筋萎縮性側索硬化症、脊髄性筋萎縮症

【事業内容】 病気の進行に伴い音声を喪失する患者さんの声を収録し、自身の音声合成ソフトを制作・活用して自分の声を再現する取り組み。
意思伝達装置と連携して患者さんの QOL 向上をめざす。

